



2026年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 メディア総研株式会社
 コード番号 9242 URL <https://mediasouken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷口 陽子 TEL 092 (736) 5587
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東 福

(百万円未満切捨て)

1. 2026年7月期第3四半期の連結業績（2025年8月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期第3四半期	1,465	8.5	378	6.0	406	13.1	289	17.3
2025年7月期第3四半期	1,351	30.7	357	23.0	359	22.5	246	29.2

(注) 包括利益 2026年7月期第3四半期 265百万円 (7.8%) 2025年7月期第3四半期 246百万円 (29.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期第3四半期	234.80	231.25
2025年7月期第3四半期	200.53	197.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期第3四半期	2,142	1,765	82.4
2025年7月期	1,786	1,524	85.3

(参考) 自己資本 2026年7月期第3四半期 1,765百万円 2025年7月期 1,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年7月期	—	0.00	—		
2026年7月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,668	8.6	326	11.1	357	20.3	244	12.3	198.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年7月期3Q	1,232,300株	2025年7月期	1,232,300株
② 期末自己株式数	2026年7月期3Q	143株	2025年7月期	84株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年7月期3Q	1,232,178株	2025年7月期3Q	1,230,216株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年6月12日(金)に当社ウェブサイトおよびT D n e tに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇の影響が継続するなかでも、雇用・所得環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東地域を巡る地政学的リスクの高まりにより、エネルギー価格や金融市場への影響が懸念されるなど、先行きに対する不透明感が強まる状況となりました。

人材・就職支援業界においては、企業の人材確保意欲が引き続き高い水準で推移するなか、とりわけ理工系や技術系分野を中心とした専門人材に対する需要は底堅く推移しました。企業側では、中長期的な成長を見据えた人材投資の重要性が引き続き認識され、採用活動の早期化や通年化を含む柔軟な採用手法の活用が拡大しました。加えて、インターンシップやキャリア教育の拡充を通じて低学年から学生との接点を確保する動きが広がるとともに、職務内容や専門性を重視したジョブ型の採用手法の導入・活用も進展しております。また、対面型イベントとオンライン施策を組み合わせた採用活動が定着し、学生との接点を多面的に確保する動きが継続しました。これらの状況を背景に、企業と学生のマッチングを支援する人材・就職支援サービスへのニーズは堅調に推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、2025年10月2日に公表した事業計画に基づき、事業規模の拡大およびサービス品質の維持・向上に向けた人材採用を進め、組織体制の強化を図るとともに、主力事業であるキャリア支援事業における各種サービスの提供に注力してまいりました。第2四半期に集中して開催した就職活動イベントの成果を踏まえ、顧客企業との関係深化やサービス品質の向上に取り組むとともに、経済産業省が推進する令和6年度末踏的な地方の若手人材発掘育成支援事業費補助金（AKATSUKIプロジェクト）の採択事業である「re-KOSEN」プロジェクトを通じて、中四国エリアを中心とした若手IT人材の育成支援を進めてまいりました。さらに、株主優待制度の運用を通じて株主還元の実現と投資家層の拡大にも努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,465,592千円（前年同四半期比8.5%増）となりました。また、営業利益は378,572千円（前年同四半期比6.0%増）、経常利益は406,783千円（前年同四半期比13.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は289,311千円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

※収益の季節変動について

当社グループの主力であるキャリア支援事業は、第2四半期に新卒向け就職活動イベントが集中する事業特性を有しており、この期間の売上高が相対的に高くなる傾向にあります。一方、その他の期間は、これらイベントの実施に向けた企画・広報等の準備活動の比重が高まることから、売上高および利益が季節的に低下する傾向にありますが、いずれも事業計画に沿った進捗であり、想定範囲内で推移しております。

（参考：2025年7月期の売上高並びに営業利益又は営業損失の実績推移）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高（百万円）	163	999	188	185	1,536
営業利益又は営業損失 （△）（百万円）	△91	585	△137	△63	294

（2026年7月期の売上高並びに営業利益又は営業損失の実績推移）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	累計
売上高（百万円）	167	1,084	213	1,465
営業利益又は営業損失 （△）（百万円）	△104	578	△95	378

セグメント別の経営成績の状況は、以下のとおりであります。

①キャリア支援事業

当第3四半期累計期間の売上高は、前期に開催した「半導体／防衛産業仕事研究セミナー」を、当期は「国策産業仕事研究セミナー」としてブラッシュアップし規模を拡大したことや、伴走型採用コンサルティングサービス「高専人材採用プロジェクト」の契約の積み上げを進めたこと等により、1,279,272千円（前年同四半期比8.9%増）となりました。また、事業規模拡大に向けた体制強化に伴う人件費や活動費の増加を売上高の増加により吸収した結果、セグメント利益は652,651千円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

②WEBコンテンツサービス事業

当第3四半期累計期間の売上高は186,519千円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント損失は27,952千円（前年同四半期は19,521千円の損失）となりました。損失の拡大は、事業計画に基づく中長期的な成長を見据え、AI・デ

デジタル営業基盤の構築や新商材開発、組織体制の強化など、規模拡大に向けた先行投資を進めたことによるものであります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,862,368千円となり、前連結会計年度末と比べ402,323千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が385,148千円、売掛金が25,508千円増加したこと等によるものであります。固定資産は280,048千円となり、前連結会計年度末と比べ46,441千円の減少となりました。これは有形固定資産が4,014千円、無形固定資産が18,971千円、投資その他の資産が23,455千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,142,417千円となり、前連結会計年度末に比べ355,882千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は351,096千円となり、前連結会計年度末と比べ112,882千円の増加となりました。これは主に、買掛金が15,074千円、未払法人税等が58,298千円、賞与引当金が24,097千円増加したこと等によるものであります。固定負債は26,156千円となり、前連結会計年度末と比べ1,910千円の増加となりました。これは退職給付に係る負債が1,910千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は377,252千円となり、前連結会計年度末に比べ114,793千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,765,164千円となり、前連結会計年度末と比べ241,089千円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益289,311千円を計上した一方で、その他有価証券評価差額金が23,483千円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.4%（前連結会計年度末は85.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年9月12日の「2025年7月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389,507	1,774,656
売掛金	36,750	62,258
仕掛品	7,535	4,693
貯蔵品	241	205
その他	26,163	20,691
貸倒引当金	△153	△136
流動資産合計	1,460,044	1,862,368
固定資産		
有形固定資産	29,802	25,787
無形固定資産		
のれん	106,495	95,085
その他	19,437	11,875
無形固定資産合計	125,932	106,961
投資その他の資産		
その他	170,754	147,339
貸倒引当金	—	△39
投資その他の資産合計	170,754	147,299
固定資産合計	326,489	280,048
資産合計	1,786,534	2,142,417
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,327	25,402
未払金	68,126	62,518
未払法人税等	37,906	96,205
賞与引当金	12,892	36,989
株主優待引当金	—	989
その他	108,960	128,991
流動負債合計	238,213	351,096
固定負債		
退職給付に係る負債	24,245	26,156
固定負債合計	24,245	26,156
負債合計	262,459	377,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,387	250,387
資本剰余金	200,387	200,387
利益剰余金	1,073,459	1,338,127
自己株式	△159	△253
株主資本合計	1,524,075	1,788,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△23,483
その他の包括利益累計額合計	—	△23,483
純資産合計	1,524,075	1,765,164
負債純資産合計	1,786,534	2,142,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
売上高	1,351,162	1,465,592
売上原価	400,800	405,729
売上総利益	950,362	1,059,862
販売費及び一般管理費	593,095	681,290
営業利益	357,267	378,572
営業外収益		
受取利息	596	3,985
補助金収入	—	23,455
受取手数料	368	—
代理店手数料	631	400
ポイント収入額	523	3
その他	298	485
営業外収益合計	2,417	28,329
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	39
解約金	—	79
営業外費用合計	—	118
経常利益	359,684	406,783
特別利益		
固定資産売却益	—	11,542
特別利益合計	—	11,542
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	1,174	—
特別損失合計	1,174	—
税金等調整前四半期純利益	358,509	418,325
法人税等	111,818	129,013
四半期純利益	246,691	289,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	246,691	289,311

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年8月1日 至2026年4月30日)
四半期純利益	246,691	289,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△23,483
その他の包括利益合計	—	△23,483
四半期包括利益	246,691	265,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,691	265,827
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	14,381千円	11,982千円
のれんの償却額	11,410千円	11,410千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	キャリア支援事業	WEBコンテンツサービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,174,660	176,502	1,351,162	—	1,351,162
外部顧客への売上高	1,174,660	176,502	1,351,162	—	1,351,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	414	414	△414	—
計	1,174,660	176,916	1,351,576	△414	1,351,162
セグメント利益又は損失 (△)	596,477	△19,521	576,956	△219,689	357,267

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△219,689千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,689千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は、「キャリア支援事業」1,174千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年8月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	キャリア支援事業	WEBコンテンツサービス事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,279,272	186,319	1,465,592	—	1,465,592
外部顧客への売上高	1,279,272	186,319	1,465,592	—	1,465,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	200	200	△200	—
計	1,279,272	186,519	1,465,792	△200	1,465,592
セグメント利益又は損失 (△)	652,651	△27,952	624,698	△246,125	378,572

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△246,125千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△246,125千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。